薬経連ニュース2019年6月15日号

(2019年6月15日までのトピックの紹介)

I.薬局·医療機関関連

I. 医療機関統合にインセンティブ

厚労省は経営統合や運営の共同化に取り組む医療法人に対しインセンティブを付与する方針を固めた。2020年度より経営統合などを支援する優遇融資制度を創設する予定だ。厚労省は2040年に向けた医療・福祉サービスの改革プランを策定しており、それによるとタスクシフティング、シニア活用、AIやICTなどの活用のほか、経営の大規模化・協働化を進めていく方針だ。

II. 診療報酬が業務改善の足かせに

中医協は 2020 年度の診療報酬改定 に向けて**働き方改革の推進を阻害** する要件を見直すべきとの意見が 出された。入退院支援加算の要件に なっている書類作成などが、医の 負担になっていることがあり改生の 指摘があった。入院先で ある大病院の医師が要介護認定の 主治医意見書を作成することや あき方せんの記載など負担に なっている。一方で医師や医療従事 者の働き方改革を推進するための 財源として診療報酬の点数引き上 げなどを行い、患者負担を増やすことには支払い側の反対があった。

III. 日看協、訪問看護大規模化要求

日本看護協会は、都道府県の医療計画に訪問看護師確保計画を記載することや、地域医療介護総合確保基

金による訪問看護ステーションの 大規模化支援、小規模事業者の統合・再編策の推進などを盛り込む 「訪問看護推進総合計画」を策定して、計画を推進するための拠点施設を各都道府県に創設することを厚生労働省老健局に要望書として提出した。

IV. 日病協働き方改革で報酬増額要望

日本病院協議会は働き方改革を完全に実現させるためには病院医療への適切な評価が必要だとして、 2020 年度の診療報酬改定で入院基本料の増額を強く求める要望書を厚労省に提出した。働き方改革を診療報酬で推進するため入院基本料の増額や各種の施設基準、加算要件の緩和などを求めている。

V. 認知症予防、数値目標取りやめ

政府は認知症対策の大綱に数値目標を盛り込む方針を取りやめた。元々の案では「70代での発症を10年間で1歳遅らせる」としていたが、認知症を発症してしまった患者が落第者として自信を無くしまうとの懸念を受けて、数値目標を取り下げた。初めから数値目標を追うのではなく、予防の取り組みを行った結果として数字が付いてくる、そのようは表現に変更する。

薬経連ニュース2019年6月1<mark>5日</mark>号

Ⅱ. 行政・技術関連情報

I. がんゲノム医療保険適用開始

がん細胞の遺伝子を調べ最適な治療法を探るいわゆる「ゲノム医療」 の遺伝子検査システムに関し保険 適用となり1回56万円となる。対象は希少がんや小児がん、再発や進行性など標準的治療が受けられない患者に限られているが、医師の薬剤選択方法が大きく変わる一歩になりそうだ。

II. HIV かかりにくいと、寿命短い

HIVにかかりにくくなる遺伝子変異のペアを持つ人は持たない人に比べて、それがない人に比べて 76歳まで生きられる確率が 20%ほど低かったと、イギリスとデンマークの研究チームが明らかにした。HIVは CCR5という遺伝子から感染するが、この遺伝子に変異がありHIVにかかりにくい人がいる事が知られている。このような人たちは、インフルエンザなど他の感染症にかかりやすくなることも分かっており、それが影響していると考えられる。

III. 医療機関がクラウト、ファウンテ、ィンク、

大阪府三島救命救急医療センター (46 床)は、**医療者確保の資金に 関し、クラウドファウンディング** で調達を目指している。同センタ ーは3年後に大阪医科大に移転が 決まっており、残り3年の運営を 維持する資金の一部にしたい考えだ。院内感染発生や医師不足などで患者数が減少し、収入が減少、それにより医療者確保が難しくなり、さらに患者数が減少する流れとなっており、その流れを断ち切るための対策である。

IV. AI で肝がん発見

東京大学医学部付属病院は、肝がんの有無を腫瘍マーカーだけでなく年齢や肝機能、性別のような患者属性などの情報をAIで解析、発見の精度を上げることに成功した。1582 人の患者データを用いて機械学習を行い AI による診断精度を高め正診率 87.3%となった。腫瘍マーカーのみでは7割程度の精度であり、AIの介入より精度を高めることが出来た。この手法は他の疾患での応用も期待される。

V. 緊急避妊薬、オンライン診療に制限か?

緊急避妊薬処方に関するオンライン診療解禁に関し、厚労省の検討会は、利用できる女性を制限する方針を打ち出した。近くに受診可能な医療機関がない場合か性犯罪被害に遭い、対人恐怖がある場合に限る案が出されている。緊急避妊薬が容易に手に入ることで適切な避妊がされなくなるといった医療者側の意見が出されたためだ。今後、検討を重ねて7月に新指針を打ち出す。

薬経連ニュース2019年6月15日号

Ⅲ. 企業関連情報

I. 「エクア」など販売提携

ノバルティスファーマと大日本住 友製薬は、糖尿病治療薬「エクア」、 「エクメット」に関しての**日本国** 内における共同プロモーション及 び販売提携に関する契約を締結し たと発表した。2019年7月より共 同プロモーションを開始し、2019 年11月からはノバルティスファ ーマより製品供給を受けて、大日 本住友製薬が独占的流通を担う。

II.「リュープリン」工場新設

武田薬品工業は、前立腺がん・閉経後乳がん治療薬「リュープリン」 のバイアル製剤、キット製剤を製造する新製造施設を建設すると発表した。投資額は110億円を見込んでいる。新製造施設は最新の技術を投入し、高い品質の担保と生産効率向上を図る。

III.「アーリーダ」適応追加申請

ヤンセンファーマは 5 月に発売に なった前立腺がん治療薬「アーリ ーダ」に関して**転移性去勢感受性 前立腺がんの効能・効果に追加に 係る製造販売承認事項一部変更承 認を申請**したと発表した。同剤に は根治が見込めない転移性去勢抵 抗性前立腺がんに移行する前段階 で進行を遅らせる新たな治療選択 肢としての役割が期待される。

IV. 「アレセンサ」適応拡大申請

中外製薬はALK阻害剤「アレセン サ」に関し、再発または難治性の ALK 融合遺伝子陽性の未分化大 細胞リンパ腫に対する効能・効果 追加の承認申請を行ったと発表し た。今回の承認申請は国立研究開 発法人日本医療研究開発機構の 「革新的がん医療実用化研究事 業」として 2015 年 5 月から実施 された医師主導治験の成績に基づ くものである。

V. 「メノエイドコンビパッチ」<u>久光</u> に移管

あすか製薬は経皮吸収卵胞・黄体 ホルモン製剤「メノエイドコンビ パッチ」に関して 2019 年 9 月 1 日から久光製薬に製造販売承認の 承継を行うと発表した。同剤は 2008 年 10 月 16 日に製造販売承 認を取得した製品であり、卵胞ホ ルモンと黄体ホルモンを1剤に配 合した貼付剤である。2019年9月 からは久光製薬が製造販売元とし て情報提供及び収集、安定供給を 行っていく。久光製薬は貼付剤に 強みがあるほか、経皮吸収エスト ラジオール製剤「エストラーナ」 など女性ホルモン製剤を扱ってお り、婦人科領域でのラインナップ 拡充になる。

薬経連ニュース2019年6月15日ラ

Ⅳ. 展望

I. 客観と主観

最近、プロモーションを考える上で "体験"が重要になってきている。顧客 や消費者にどのような体験をして貰う のか、ビジネスの勝敗がこの点で決まり やすくなっているのだ。従来、まだ広告 宣伝媒体の王者がテレビであった頃は、 体験ではなく、性能が重要だったが、広 告宣伝媒体の王者がインターネットに 変わった現在、体験が重要になっている。

テレビの場合、その特性上、企業が作成した広告を流す形になるので、客観的な情報の提供が中心になる。主観的で検証できないような情報では信用されなくなってしまうからだ。高齢者向けの通販番組などでは、個人の見解と断りながら、膝の関節痛が云々などとしているが、基本は客観的な情報になる。

一方でインターネットの場合、情報提供する主体が企業とは限らない。むしろ SNS など個人の場合が多い。個人が情報を共有する場合、機能、性能などと言った小難しい話にはならないだろう。例えば、デジタルカメラを買おうとするとき、画素数やF値と言った情報なら企業のサイトで十分だし、そのような面倒なデータを個人が SNS で記載することは少ないだろう。一方で素人でも綺麗な写真を撮れるとか、望遠機能が運動会で大活躍など、実際の使用感は個人が発信するからこそ説得力が増すし、自分に近い属性の誰かの感想というのは情報としての

価値が高い。

SNS という新しい情報網ができ、個人が情報提供をするようになった。そして、この情報網には従来のルートには載らなかった根拠のない個人の主観的な意見がどんどん流れてくる。そしてこの情報は影響力と価値があるのだ。

機能、性能と言った客観的なものは開発・製造した企業側の方が詳しい。しかし、実際の体験は個人が発信する感想に勝るものはない。そして、その個人の感想を気軽に共有できる世の中になっている。ただし、その発信は企業ではなく個人になる。そのため企業は個人が情報を発信したくなるような仕掛けを打つ。個人が発信する情報は体験に基づくものなので、いかに自慢したくなる、共有したくなる体験をさせるか、ここに知恵を絞るのだ。

20 世紀からある既存メディアと SNS のような新しいメディアは全く性質が異なる。そして、この新しいメディアに関して、企業が主体となり情報発信するより、個人が主体となり共有する形で情報が広がる方が、効果が高いことも分かってきた。そして多くの個人はプロモーションに関して素人であり、何かを宣伝しようという意図も持たない。しかし自分が体験した事であれば、それなりに伝わる。また、面白い体験であれば共有したくもなる。だから体験が重要になるのだ。(武田)

薬経連ニュース2019年6月15日ラ

V. 市場動向レポート

I. 潮流を作るか

事務用品としてなじみが深い「アラビックヤマト」というノリの成分が造血幹細胞を増殖させる培養液として優れていることが分かったそうだ。現在主に使われている培養液は 500ml で数万円する。しかも増殖させられる量もかなり多く低コストで効率的なようだ。

最近、この手の話題をよく目にするようになった。心筋細胞の再生に関して、消炎鎮痛剤「ボルタレン」の成分が効果的であることが分かってきたり、第一三共の「リファジン(一般名リファンピシン)」にアルツハイマー病などの予防効果が期待されていたり、すでに世にある製品から新しい機能が見出されることが増えているように感じる。

医療は日々発展している。発展とは昨日不可能であったことを可能にすること。言い換えれば現代の医学では治せない病気を治せるようにすることだ。実現が難しいというのがよくわかるだろう。また、現在の最先端技術を礎に、さらにその先を目指すわけだから、今よりコストがかかるのも仕方がない。

そこで直面するのが、医療費の問題だ。 どのような保険制度を作ろうと、医療費 自体が高騰すれば、対応できなくなる。 そうなると、効果的だと分かっている医 療であっても、使用できる対象を絞ると か、または保険適用にせず自己負担を強 いるなどせざるを得なくなる。 松下幸之助は「**水道哲学**」という考え を持っていた。水道水のように、誰もが 気軽に手に入れられるよう、良いものを 安く提供する。これにより貧困をなくし、 世の中を幸せにする。そんな考えだ。

従来の経口剤などの製品は研究開発には莫大なコストがかかるが、現物の製造コストはそれほどではない。このような場合、売れれば売れるほど価格を下げる事が出来る。しかし、最近の製品はCAR-T細胞療法やiPS細胞など、製品自体のコストも高くなる傾向にある。このような場合、製造量が増えても価格を下げることはできない。より低価格で供給できるよう、製造方法の工夫が必要になる。または類似の効果が得られる、より安価な方法を見つけ出すというのも重要だろう。

現在の医療は、保険の範疇で対応できないほどに大きくなっている。しかし、 医療は生きるために必要なものであり、 まさに水道哲学が必要な分野である。現 在の医療では救えない患者を救うため の研究はもちろん大切だが、高度な医療 を手ごろに受けられる、その方向での研究がもっと活発になってもよいのではないだろうか。(武田)

薬経連ニュース2019年6月15日号

VI. 数字で見る医療提供体制(医療機関施設数 19 年 3 月)

	施設数					病床数			
	病院	療養病床を有する病院	一般診療所	療養病床を有する一般診療所	歯科診療所	病院	療養病床	一般診療所	療養病床
全 国	8 342	(再掲) 3 703	102 202	(再掲) 812	68 505	1 539 089	(再掲) 314 087	92 599	<u>(</u> 再掲) 8 163
01 北海道	553	241	3 403	41	2 887	93 344	20 939	5 990	480
02 青森	95	38	880	13	525	17 216	2 737	2 008	119
02 肖林	91	29	879	11	580	16 714	2 282	1 324	114
04 宮城	139	53	1 660	11	1 064	25 378	3 431	1 543	91
05 秋田	69	25	804	6	441	14 809	2 139	740	77
06 山形	68	22	920	6	484	14 339	2 057	624	65
07 福島	128	48	1 353	8	856	24 868	3 516	1 332	73
08 茨城	175	80	1 739	12	1 404	31 216	5 558	1 620	120
09 栃木	106	56	1 454	8	979	20 929	4 098	1 605	72
10 群馬	130	65	1 552	4	982	23 969	4 337	1 094	44
11 埼玉	343	124	4 347	4	3 562	62 833	11 627	2 658	51
12 千葉	288	122	3 806	12	3 259	59 551	10 684	2 246	141
13 東京	642	251	13 542	10	10 655	127 874	24 090	3 726	119
14 神奈川	338	120	6 765	10	4 936	74 234	13 292	2 342	138
15 新潟	128	46	1 667	1	1 159	28 222	4 808	550	19
16 富山	107	50	759	1	442	16 096	4 521	502	12
17 石川	94	42	869	3	484	17 607	3 923	848	24
18 福井	68	29	572	10	296	10 748	2 004	1 014	131
19 山梨	60	28	699	5	436	10 688	2 031	446	36
20 長野	127	56	1 571	13	1 013	23 554	3 719	871	129
21 岐阜	99	50	1 591	22	958	20 179	3 181	1 534	251
22 静岡	176	88	2 718	4	1 764	38 013	10 341	2 048	56
23 愛知	324	158	5 408	22	3 740	67 412	14 672	3 737	226
24 三重	93	50	1 518	15	825	19 659	3 953	1 177	194
25 滋賀	57	29	1 089	1	561	14 301	2 796	499	17
26 京都 27 大阪	166 516	60 221	2 456 8 495	3 5	1 306 5 501	34 991 105 759	6 097 21 550	706 2 251	34 44
27 人版 28 兵庫	350	158	5 082	19	2 980	64 772	13 536	2 602	178
20 共庫 29 奈良	79	35	1 211	3	687	16 577	2 909	428	34
30 和歌山	83	38	1 027	11	529	13 400	2 628	926	122
31 鳥取	43	25	497	3	260	8 421	1 814	438	18
32 島根	49	28	718	3	269	10 304	1 952	472	36
33 岡山	163	76	1 652	29	984	27 908	4 414	2 081	331
34 広島	238	119	2 551	44	1 551	39 119	9 313	2 759	462
35 山口	145	76	1 249	10	658	25 976	8 699	1 493	116
36 徳島	109	61	725	19	431	14 349	4 220	1 649	137
37 香川	89	38	825	21	480	14 459	2 377	1 447	195
38 愛媛	138	74	1 234	22	667	21 574	4 749	2 440	274
39 高知	125	79	554	3	367	17 669	6 252	1 239	18
40 福岡	460	215	4 709	98	3 093	84 363	19 617	7 226	829
41 佐賀	101	55	689	35	414	14 681	4 109	2 182	307
42 長崎	149	66	1 380	45	727	25 998	6 125	3 437	421
43 熊本	213	102	1 467	50	846	34 335	8 717	4 705	504
44 大分	155	49	952	30	541	19 833	2 618	3 628	277
45 宮崎	139	64	891	23	505	18 814	3 708	2 465	224
46 鹿児島	242	125	1 378	75	804	33 250	8 178	5 015	704
47 沖縄	92	39	895	8	613	18 784	3 769	932	99